

## 付記①

今回のコンテストを実施するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、カリフォルニア・レーズン協会では、最終審査当日に来場するファイナリスト、審査員、協会関係者、運営スタッフ全員を対象に、以下の感染症予防対策を講じました。

1. 前提として、風邪や肺炎の症状、味覚や嗅覚に異変が無い者、2020年3月～5月に海外への渡航歴が無い者が来場可能。また、最低限の人数で実施するため、プレスやファイナリスト関係者等の来場は不可とした。
2. ファイナリスト、審査員、協会関係者、および運営スタッフ全員が、最終審査当日までの一週間、一日一回の検温を実施。所定の用紙に検温時間と体温を記入の上、最終審査当日にコンテスト事務局へ提出。当日までに37.5℃以上の発熱が3日間以上続いた場合は来場不可。また、一週間後の体調調査も実施。
3. 最終審査当日は、来場者全員に対し非接触温度計による検温を実施。また、来場者は、石鹸による手洗いとうがいを済ませてから会場入り。会場内では数ヶ所に手指消毒剤を設置。
4. 窓や出入口は常時開放。常時開放できない審査会場については、空気清浄器を設置し、一定時間ごとに窓を開け換気を実施。
5. 会場内什器や備品は、適宜、除菌・消毒成分の配合液での拭き取り消毒を実施し、調理器具は使用前の洗浄と消毒を必須とした。個人的に使用する筆記用具や、特定の形状・条件を要する調理器具等は持参必須とした。
6. 作品制作会場では、ファイナリストはマスクとニトリル手袋着用必須。審査員も同様とし、例年使用するヘアネットとシューズカバーに加え、フェイスシールドを着用必須とした。
7. ファイナリストによるプレゼンテーションでは、ファイナリストと審査員席の間にビニール幕を設置。司会台にもアクリルパネルを設置。
8. 表彰式では、壇上マイク位置から2メートル以上離して座席を配置。また、各座席は前後左右1メートル以上の間隔をあけて配置し、司会台にはアクリルパネルを設置。
9. 表彰中、ファイナリストはマスクと白手袋を着用し、写真撮影時のみマスクを外して対応。マクニール駐日代表は白手袋を着用の上、ファイナリストに声がけをしなかった。贈呈品は全て拭き取り消毒を施し、メダルおよび楯の授与を行い、握手はしなかった。
10. レセプションは、例年のビュッフェスタイルを中止し、着席でのフルコースディナーとした。通常、最大9名着席できる円卓に5名ずつの配置とした。



審査員はフェイスシールドを着用



白手袋を着用した大賞受賞者